

科目名		音楽 ( Music )							
学年	学科(コース)	単位数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第1学年	機械工学科 電気工学科 制御情報工学科 物質工学科 経営情報学科	履修	1単位	—	講義	通年 50分/週	30時間		
担当教員		【非常勤】 吉田美香 (【副担当】 山下祐志)							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	基礎的な能力を確認・発展させ音楽的自立を目指す。 世界の様々な音楽を通して、互いの違いを認め共感・共生する心と豊かな感性・表現力を身に付ける。 (1) 世界の様々な時代・ジャンルの音楽を理解し親しむ。 (2) 楽典の基礎知識を確認し発展させる。 (3) ギターの初歩演奏技術を習得する。 (4) 音楽祭に向けてクラス合唱の楽しさを味わう。								
学習・教育目標	(F)	JABEE基準1(2)							
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目									
教科書	「高校生の音楽①」 小原光一著 (教育芸術社)								
補助教材等	プリント(補足資料、楽典問題等)								
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	学年末試験(後期)	小テスト(前期)	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	ギター・テスト	合計
総合評価割合		40		30				30	100
知識の基本的な理解【知識・記憶、理解レベル】		◎	◎	◎				◎	/
思考・推論・創造への適用力【適用、分析レベル】		○	○					○	
汎用的技能【 】									
態度・志向性(人間力)【主体性、自己管理能力】				○					
総合的な学習経験と創造的思考力【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯音楽を愛好する人間性豊かな技術者となることを願い、学校音楽教育最後の1年は基礎力の確認・発展と、多様な音楽との出会いのある授業とする。</li> <li>・ギターはクラスで初歩から取り組み、音楽祭(後期補講授業・合同)に向けては前期ははじめより少しずつ「クラスの声」を育てていきたい。演奏技術の習得や、クラスで音楽をつくり上げ楽しむには、相応の集中力が必要なことをふまえて授業に臨むこと。(授業態度・忘れ物で減点されることがある。)</li> <li>・年間を通じてプリントを配布するので、一括してバインダー等に綴じ毎授業持つてくること。</li> <li>・学校スケジュール、教室の空き状況などにより授業内容が入れ替わることがある。</li> </ul>									

授 業 の 明 細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス 《校歌》	シラバスから学習の意義、年間の授業の進め方、評価方法を理解する。 《校歌に親しむ。1回～》	校歌の歌詞を理解し憶える。(1回～)
2	西洋の音楽 《発声の基礎》	『モーツァルトの旅』の足跡をたどり、その半生を知る。 《順次発声の基礎に取り組む》	教科書p144～、p5～ プリント資料
3	西洋の音楽	モーツァルトの楽曲を通して古典派音楽の特徴、オーケストラのしくみを理解する。	教科書p42～、p138～、 プリント資料
4	楽典	楽典の基礎知識を確認・発展させる。	教科書p130～ プリント楽典問題
5	西洋の音楽	オペラ『トゥーランドット』を鑑賞し、西洋舞台芸術のあらましを理解する。	教科書p36～、p54～ プリント資料
6	西洋の音楽	オペラ『トゥーランドット』を鑑賞し、西洋舞台芸術のあらましを理解する。	教科書p36～、p54～ プリント資料
7	楽典	楽典の基礎知識を確認・発展させる。	教科書p130～ プリント楽典問題
8	小テスト ギター入門	小テストにより1～7回の学習内容を確認する。 ギター入門の知識を得て楽器に慣れ親しむ。	2～7回各教科書ページ プリント資料
9	小テスト返却・解説 ギター演奏	小テストの解説により理解を深める。 タブ譜の読み方を理解する。	2～7回各教科書ページ プリント資料
10	ギター演奏	音階・簡単なメロディの弾き方を理解する。	プリント資料
11	ギター演奏	音階・簡単なメロディを弾くことができる。	プリント資料
12	ギター・テスト	ギター実技テストとプリント課題により8～11回の内容を確実に身につける。	プリント資料
13	ギター演奏	タブ譜の読み方を定着させる。 アルペジオ奏を理解する。	プリント資料
14	ギター演奏	タブ譜の読み方を定着させる。 アルペジオ奏を理解する。	プリント資料
	(期末試験は行わない)		
15	ギター演奏	メロディ奏を発展させる。 アルペジオ奏を習得する。	プリント資料

## 授 業 の 明 細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	ギター演奏	メロディ奏を発展させる。 アルペジオ奏を習得する。 コードとストローク奏を理解する。	プリント資料
17	ギター演奏	メロディ奏を発展させる。 アルペジオ奏・ストローク奏を習得する。	プリント資料
18	ギター演奏	メロディ奏・アルペジオ奏・ストローク奏ができる。	プリント資料
19	ギター・テスト	ギター実技テストとプリント課題により13～18回の内容を確実に身につける。	プリント資料
20	日本の伝統音楽	日本の伝統的な舞台芸術、歌舞伎のあらましを理解する。	教科書p68～ プリント資料
21	日本の伝統音楽	歌舞伎『京鹿子娘道成寺』を鑑賞し、日本の伝統音楽に親しむ。	教科書p68～ プリント資料
22	楽典	楽典の基礎知識を確認・発展させる。	教科書p130～ プリント楽典問題
23	世界の諸民族の音楽	世界の様々な地域の音楽にふれその特性を理解する。	教科書p74～ プリント資料
24	世界の諸民族の音楽	世界の様々な地域の音楽にふれその特性を理解する。	教科書p74～ プリント資料
25	音楽祭に向けて	音楽祭に向けクラス合唱を作り上げていく	プリント資料
26	音楽祭に向けて	音楽祭に向けクラス合唱を作り上げていく	プリント資料
27	音楽祭りハーサル	音楽祭に向けクラス合唱を作り上げていく	プリント資料
28	音楽祭	クラスごとに歌を発表し音楽で気持ちを伝え合う体験をする。	プリント資料
29	楽典	楽典の基礎知識を確認・発展させる。	教科書p130～ プリント楽典問題
	学年末試験		
30	学年末試験返却・解説 1年の学習のまとめ 授業改善アンケートの実施	学年末試験の解説により理解を深める。 1年間のまとめを行う。	
<b>総 授 業 時 間 数</b>			30時間